

そらこめ通信

No.83 2017年6月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

種まきが終わったあと、圃場が乾くのを待って4月27日から田起こしが始まりました。田起こしのあとは圃場に肥料を蒔き、水を入れ、丁寧に代を掻き、そして田植えとなります。田起こしの開始から代掻きが終わるまで20日間ほど。その間、ハウスの中では苗がぐんぐん育っています。

今年の田植えは、5月18日(木)午後から機械の試運転を兼ねて始まりました。気温の方は18日が25度、翌19日も25.8度と連日の夏日になり、絶好の田植え日和になりました。その後、休日なしで田植えが続けられ、5月26日(金)の午前中で全て終わりました。田植えに費やした日数は足掛け9日、初日と最終日がそれぞれ半日だったので正味8日間の作業工程でした。

気象庁のホームページには「過去の気象データ」をピンポイントで検索できる機能があり、たまに使わせて頂いております。今月の「そらこめ通信」を書くにあたり、移植された苗の活着状況を推測するのに少しは参考になるかと思い、先月(5月)の沼田町の気象データを調べてみました。検索したデータからは、5月1日~31日までの日ごとの降水量や気温、風向きや風速、日照時間などが判ります。また、過去数十年の5月におけるそれぞれの項目の平均値なども日ごとに検索することができます。直近の数値との比較も可能です。そこで、今年5月の数値と過去の5月の平均値を比べてみたのですが、今年5月の日ごとの平均気温が軒並み過去の平均を上回っているのです。上回った日数は実に24日(この他に同数が2日)ありました。ちなみに、日照時間の合計では差異は見られません。やはり温暖化しているのでしょうか。何とも複雑な気分させるデータでありました。



トラクターでの田起こし作業(4月27日)



外気から苗を守るための工夫(4月27日)



圃場への肥料の散布(5月2日)



代掻き(5月8日)



「ななつぼし」の苗の生育状況(5月12日)



ハート型の桜...見えないかな(5月12日)



代掻き(5月12日)



田植えが始まりました(5月18日)



田植え機への苗の補充作業(5月19日)



田植え作業(5月19日)



田植えが終わった圃場(5月19日)



苗床の後片付け(5月26日)



田植えが終了した後の田植え機の点検と整備(5月26日午後3時頃)



今年5月の日ごとの平均気温が過去の平均を軒並み上回っている旨本文に書きました。もう少し詳細に触れると、今年5月の日ごとの平均気温が過去の平均を上回ったのが24日(本文の通り)、5月の日ごとの最高気温が過去の最高気温の平均を上回った日数が22日、反対に5月の最低気温が過去の最低気温の平均を下回った日数は9日ありました。ちなみに、平均気温や最高気温が過去のデータを上回った日は上旬下旬に偏らず万遍なく散らばっていますが、最低気温が下回っていたのは上旬に偏っていました。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です